

令和6年6月27日

令和6年度 社会教育入門講座(第2回)

社会教育 今昔物語

そして未来への道しるべ

新居浜市生涯学習センター長 関 福生

まさに黒船到来!“新型コロナウイルス”
ピンチが最大のチャンスになった・・・

- ・これまで体験したことがない「集まらない」社会教育
集まれば何もしないダルマ状態
- ・他人を信用・信頼できない、不安が不信を生む社会
自粛警察や感染者を犯人扱いする人間の弱さ
物質的には恵まれていても、精神的には劣化？
社会は今、公民館草創期と同じような状況下にある
平成から令和に、コロナの川を越え、新しい学びへ！

簡単に自己紹介

- 昭和の公民館が私の原体験 S56から3年間
- 新居浜生涯学習大学 H3年開設時と現在
- 首長部局での生涯学習のまちづくり
- 三度の社会教育主事発令
(主事・課長・教育長)で感じたこと
- 学校教育と社会教育の組織文化の違い実感

最初に
公民館の歴史を振り返ってみる。

この有様を荒涼と言ふのであろうか。この心持を索漠と言ふのであろうか。(中略)

われわれは熱望する。お互いの教養を励み、文化を進め、心のオアシスとなってわれわれを育くむ適当な場所と施設がほしい。郷土の交友和楽を培う文化センターとしての施設を心から求めている。みんなが気を合せて働いたり楽しんだりための溜まり場の施設が必要だ。そんな施設が各自の生活の本拠である郷土、われわれの愛する町村に一つ宛できたらなんとすばらしいことであろう。

寺中 作雄著「公民館の建設—新しい町村の文化施設」
1946年刊行 より抜粋

公民館の歌 自由の朝

一 平和の春にあたらしく
郷土を興す よろこびも
公民館のつどいから
とげあう心 なごやかに
自由の朝を たたえよう

二 心の花のにおやかに
郷土にひろく ゆかしきま
公民館のつどいから
希望を胸に 美しく
文化の泉 くみとろう

三 働くもの 安らかに
郷土に生きる たのしきま
公民館のつどいから
まどいにならむひととき
明日への力 そだてよう

昭和22年に公民館設置促進中央連盟が毎日新聞社とタイアップして、公民館の理念を体現する歌詞を全国公募した。全国から1,017件の応募があり、千葉県館山市の山口 晋一さんの作品が特賞に選ばれた。作曲は東京音楽学校教授の下總 統一氏です。

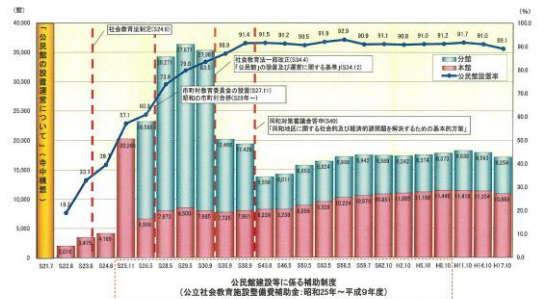
草創期の公民館への思い

昭和21年7月5日 寺中構想(文部次官通牒)

公民館は、

- ① 全国の各市町村に設置されるものであること
 - ② 町村民が集まって教え合い導き合いお互いの教養文化を高めるための民主的な機関
 - ③ 町村自治向上の基礎となるべき社交機関
 - ④ 町村民の教養文化を基礎として郷土産業活動を振興し興す原動力となる機関
 - ⑤ 町村民の民主主義的な訓練の実習所
 - ⑥ 中央の文化と地方の文化とが接触交流する場所
 - ⑦ この施設の設置運営には特に青年層の積極的な参加が望ましい
 - ⑧ 郷土振興の基礎をつくる機関
- と位置づけられ、この通達は、戦後各市町村に胎動しつつあった郷土再建の気運と呼応して、続々と公民館の設置が進められた。

戦後からの公民館数について



(資料)「社会教育の現状」(文部省社会教育局編)、「社会教育講座」(文部科学省)

公民館から示された3つのテーゼ

テーゼとはある観念をまとめて表現・主張する文章
(定立・措定)

社会教育の先輩たちは自らの言葉で、社会教育はどうあるべきかを主張していました。その中には、熱い思いが込められています。今こそ、見直し、学ぶべきことが沢山あります。

下伊那テーゼ

公民館職員の役割を提示(1965年・昭和40年)

公民館主事は**教育の専門職**であり、かつ**自治体労働者**である。

教育の中立とは**権力支配を排除**しようとする努力であり、教育の本来的な役割を守れとする国民の要請なのである。

教育とは**人間の認識能力を全面的に発展**させていく営みである。したがって、系統的・科学的な教育・学習の組織と内容が必要である。

農村部に生じている社会の矛盾に対して、新しい社会をつくる**大衆運動の場**として公民館があり、主事は働く国民大衆の立場に立つ。

枚方テーゼ

地域民主主義運動を標榜(1963年・昭和38年)

社会教育の主体は市民である。

社会教育は国民の権利である

社会教育の本質は憲法学習である。

社会教育は住民自治の力となるものである。

社会教育は大衆運動の教育的側面である。

社会教育は民主主義を育て、培い、守るものである。

三多摩テーゼ

都市型公民館を住民の力で変える提案(1973年・昭和48年)

公民館の四つの役割

公民館は住民の**自由なたまり場**です。

公民館は住民の**集団活動の拠点**です。

公民館は住民にとっての「**私の大学**」です。

公民館は住民による**文化創造の広場**です。

三多摩テーゼ

都市型公民館を住民の力で変える提案(1973年・昭和48年)

公民館の七つの運営の原則

自由と均等の原則

無料の原則

学習文化機関としての独自性の原則

職員必置の原則

地域配置の原則

豊かな施設整備の原則

住民参加の原則

臨時教育審議会答申 首相主導・総理府で

1984年～87年 特に第3次答申

『生涯学習』という表現を明確に打ち出す。

★ 生涯にわたる学習は自由な意思に基づいて行うことが本来の姿であり、自分に合った手段や方法によって行われる性格から、学習者の視点に立った立場を明確にするため、「生涯教育」ではなく、「生涯学習」という用語を用いた。

★ 学校や社会の中で、意図的組織的に行われる学習活動のほか、スポーツ活動、文化活動、趣味・娯楽、ボランティア活動、レクリエーション活動を含め、「学習」を広くとらえる。

公民館三階建論

国立市立公民館を基礎に公民館機能を重層的な構造に描く。活動中心主義的な公民館論から施設中心主義的な公民館へ

一階 レクリエーションと社交・交流の場

- 青年・サラリーマン・主婦や高齢者の自由なたまり場・自己開放の場

二階 集団活動の拠点

- サークルや団体の自由な活動の場

三階 市民にとっての私の大学

- 科学的な講座が開催される場

社会教育の終焉 オシエ・ソダテルからの脱皮

政治学者 松下 圭一氏 1986年 561年

- ◆ 日本型教育発想(国家統治と国民教化)
 - 官治性・無謬性・包括性
- ◆ 農村型社会から都市型社会への移行
 - 市民文化活動の成熟
- ➡ 公民館からコミュニティセンターへ
 - 職員は果たして必要か？不要か？
 - 社会教育関係職員VS市民活動家
- ➡ 市民の成熟とは… 学習の権利・個人か集団か

平成の公民館を体験的に語ると・・・

社会教育から生涯学習へ 全国生涯学習フェスティバル

市民大学という新しい学びの場・カルチャーセンターの台頭

コミュニティセンターへの移行・指定管理者制度の導入

平成の大合併で様変わり・全く違う文化が一緒になるということ

役に立つ社会教育(裁判員裁判導入に併せ)

公民館海援隊を結成したが・・・図書館海援隊との差はどこにあった

公民館GP・学びを通じた地方創生コンファレンス

地域課題解決学習・住民自治の拠点・地域運営組織

新時代のキーワード

新型コロナ

自前主義
からの脱却

地域課題
解決型学習

命を守る
社会教育

学びのオーガ
ナイザー

CSと地域学校
協働活動

SDGs 誰一人
取り残さない社
会づくり

Society5.0
デジタルDX

人生百年時代
ライフシフト

ウェルビーイングの実
現

昭和と平成の公民館から学んだことは

公民館は経済・政治・イデオロギーなど社会情勢に大きく影響を受ける存在

- ・階級闘争・高度経済成長・市町村合併・二度の大震災など

公民館は地域の特性や文化と密着に結びついて成長してきた

- ・農村型公民館と都市型公民館

公民館は、「正・反・合」の弁証法的発展を遂げてきたということ

- ・意見に対して対論が生まれ、対立から新しい方向性が生まれてきた。

集団としての学びと個人の学びの狭間で振り子のように揺れてきたこと

- ・社会教育と生涯学習・団体自治と住民自治・選択の自由、平等な機会

地域の人々が参加し、何が大切かを議論し、選択に責任を持つ。
まさに、民主主義の実験の場として歩んできた歴史があった。

社会教育は、個人の成長と地域社会双方の
発展に重要な意義と役割がある

人づくり

学びによる知的欲求の充足、人間的成長、自己実現

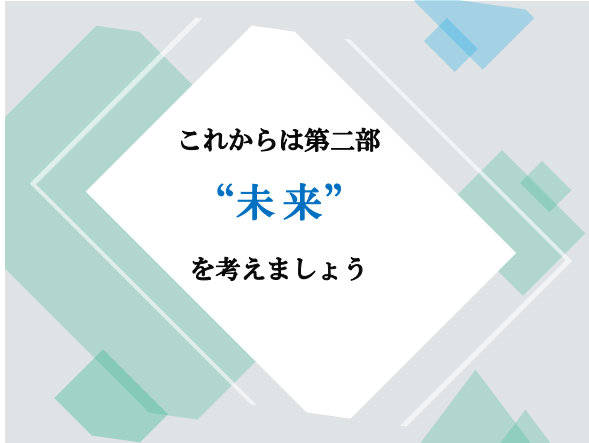
学びと活動の好循環

地域づくり

地域に対する愛着や帰属意識、地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起住民の主体的参画による地域課題解決

つながりづくり

住民の相互学習を通じ、つながり意識や住民同士の絆の強化



“教育”とは

教育とは、
誰かが意図的に
他者の学習を組織化
しようとする事

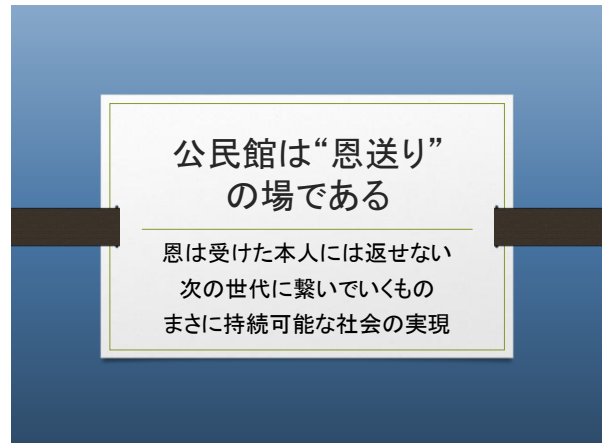
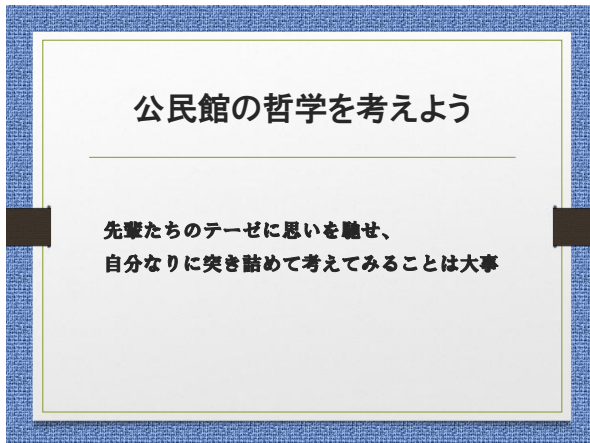
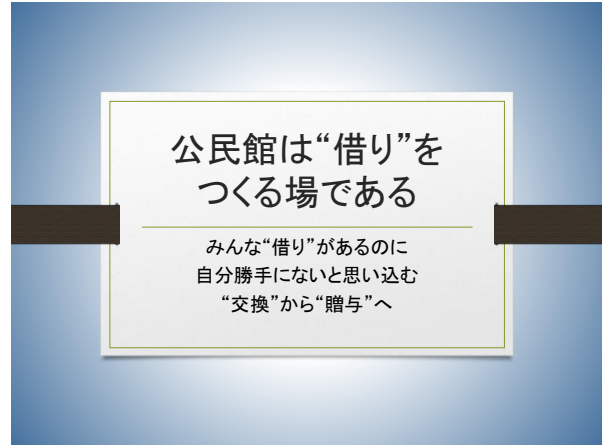
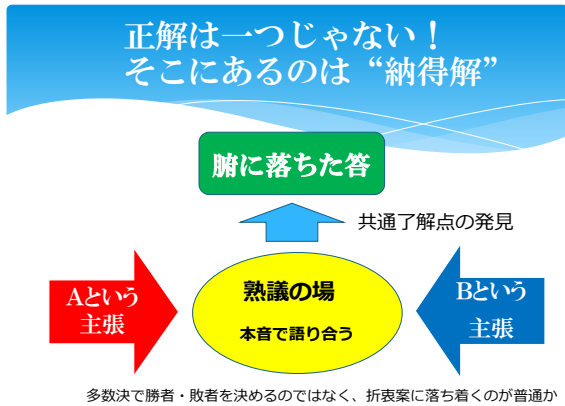
色んな観点から眺めてみよう

- 公民館の哲学
 - “哲学”は物事の本質をとらえる
- 事業の内容
 - これまでの当たり前を疑ってみる
- 社会教育職員
 - 活動者と何が違うんだろう
- つながりづくり
 - 待ちの姿勢ではなく、自分から

“哲学”とは

もし、違った考え方、ものの見方が対立した場合でも、必ず違った考え方を調整し、

新しい“共通了解”を取り出すことができるという可能性の原理



公民館は“幸民館” である

ウェルビーイングの実現
ポジティブ心理学という領域
幸福の4因子をイメージしよう

PERMA 幸福の指標

ポジティブ
感情

没頭没入

人間関係

意味意義

達成

ウェルビーイングとは

個人の刹那の幸せではなく、みんながずっと幸せな
生き心地の良さを実感できる状態をいいます。

幸せの4つの因子

やってみよう

ありがとう

なんとかなる

ありのままに

慶応義塾大学教授 前野 隆司氏

公民館は“バザール” である

多様な価値観が交流できる場
一つの価値観の下に集まる
“サロン”ではない

公民館は“他力”を 集める場である

自前で何でもやってしまう？
機関車型から脱却
みんなが主人公になる仕掛け

公民館は“人育ち” の場である

人は受け身ではなく、
主体的な活動の中で育つ
それを良い加減で支援する

公民館は“対話” の場である

直接民主主義が可能な場
対話とは、対面、対等、**対立**
ワイワイ、ガヤガヤで創発を

公民館は“**抗民館**” かもしれない

世の中の流れに抗う
一色に染まらない点描の世界
そんな“時代遅れ”が魅力かも

事業を考える際のポイントは

あなたがやろうとしている事業の**意味**は何かを考えてみましょう。

去年までもやっていたから？

“何のために”が見えてくると、事業の質が変わります。

“不易流行”って？

「はやりにならず、伝統を守る」ではない。

いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化をしているものを取り入れていくことの重要性を説く言葉

新味を求めて、変化を重ねていく流行性こそが不易の本質である。

青少年健全育成事業って？

子ども達の未来をつくる
子ども達が未来をつくる
子ども達と未来をつくる

- 若者たちの活動拠点
- ユース社会教育士
- 主権者教育のための第一歩は

★ 私が大事にしたいのは “**地域子ども教室**”

誰一人取り残されない学びとは

障がい者の生涯学習は福祉か？教育か？

公民館で障がい者の講座を展開している事例
東京都国立市公民館 和歌山県紀の川市

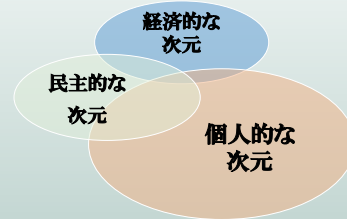
障がい者のやりたいことを知らない自分を自覚

外国人への日本語教育 外国人との学び合い

学校と地域の理想的な関係は

コミュニティスクールは社会教育？学校教育？
いつの間にか、半分以上の学校がCSになった。
危機から地域を信頼できるようになった学校
学校を核としたスクールコミュニティづくり
学校と地域をつなぐツール コミュニティカレンダー

生涯学習を多面的に捉える視点を持つ (生涯学習のトライアングル)



経済的な次元...経済進歩と発展のための生涯学習 (リカレント・リスキリング)
個人的な次元...個人の発達と充足感のための生涯学習 (趣味・教養)
民主的な次元...社会的包摂と民主的理解と活動のための生涯学習 (共創)
→ 時代によって重なり部分や大きさが変化している。三要素があることを忘れない。

リカレント教育をはじめとする生涯学習

人生百年時代と言われるようになった理由は？
人生100年を生きるのは今の若者達だが
これからは富士山型ではなく、ハケ岳型の人生になる
人生の節目で選択肢を拡げる学び 公民館でできるか？
同時に、高年者が社会から取り残されない学びも必要

社会教育法第23条第1項第1号の解釈の周知について

令和5年12月14日 文科省 地域学習推進課

公民館は、次の行為を行ってはならない。
● 不当な営利を目的として事業を行い、特定の営利事業に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること

公民館で実施し得る事業の具体的な事例

(公民館が主体で行うもの)

- ・公民館講座において講座の維持・継続に必要な受講料を徴収する。
- ・公民館講座後に受講生の教養の向上のために講師の著作物の販売を行う。
- ・公民館講座の一環として、講座内で制作した物品の販売を行う。
- ・葬儀場を運営する企業に、終活講座の開催を依頼する。
- ・著名人等のコンサートやイベントでのグッズ販売を認める。

(公民館以外が主体となって行うもの)

- ・イベントの際、キッチンカー等に飲食物の販売を認める。
- ・金融機関が少ない地域で公民館内にATMや金融機関の支店の設置を認める。
- ・買物弱者を支援するため、公民館内にスーパーマーケットの出店を認める。
- ・地域特有の農作物の認知度を向上させるために、マルシェの開催を認める。
- ・こどもの体力や学力向上のため、月謝制のダンス教室や塾の開催を認める。
- ・住民のために、定期的に理容室や美容室に公民館の貸し出しを認める。
- ・入札等の公正な方法により施設命名権(ネーミングライツ)を売却する。

自分たちが地域をつくる

何でもメリット・デメリット？ ギブ&テイク？
 功利主義と共同体主義のベストミックスを探る
 損得勘定を越えたところに幸福がある。
 社会教育は教育、そこから先の実践は一般行政？
 住民にとっては、役所は役所でしょ？
 まさに今大事なのは近江商人の教え「三方よし」
 “社会教育・一般行政・地域住民、皆よし”

つながりづくりの心構え

面白い事業をやっている所には、面白いヒトがいる

ネット情報にはマイナスは載らない 本音は面授にある

関心事があれば、まずハブ機能を持った人に相談する

最新情報にはアンテナを張る。第4期教育振興基本計画や答申に

つながりの理想形は相互交流 できれば自分一人じゃなく仲間と

良いことは真似て大丈夫 特許を主張する人は別にして

PDCAよりもAAR

Anticipation(期待感)で起動する。

- ①きっかけは 義務感ではなくワクワク感
- ②やってみると 気づき・仲間・達成感
- ③振り返ると 足らざる所、次への励みに

目標に向かってらせん状に上っていく
 大人のアクティブラーニングになる。

私流 社会教育職員の心構え

ネットワークの要になるには、自分から働きかけることが大事

あなたは全国の仲間と繋がっている 六次の隔たり

自分の中にある先入観、固定観念を疑ってみる 高齢者とICT

まずは会話から始めて、徐々に信頼関係をつくっていく

我利我利ではなく、利他の精神をもつ 忘己利他➡自利利他

みんな違ってみんないい？ 多数決で決める？

カネは後からついてくる まずはやってみよう

社会教育の職員は“公私混合”が理想かもしれない

好きな一言

社会教育は、
地域の土壌を耕す機能であり
社会の地下水脈だ

(鈴木 健次郎氏の言葉)

公民館は“幸民館”になろう！

みんなが幸せを実感し合える場になれば何よりですね



Well-being
を求めて

ご視聴ありがとうございました。それぞれの場所で花を咲かせましょう。